

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年03月18日

計画の名称	弘前市における循環のみちの実現（重点計画）												
計画の期間	令和05年度～令和05年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	弘前市												
計画の目標	安全・安心、快適な暮らしを実現するため、効率的な下水道事業の推進を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	20	A	20	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R5末
1	下水道事業における官民連携の導入検討進捗率を0%（R5）から33%（R5）に増加させる。 官民連携導入検討進捗率 ウォーターPPP導入に向け必要な検討段階（3段階）	0%	%	33%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	-	-	官民連携導入検討事業	ウォーターPPP導入検討事業 (処理場・ポンプ場・管渠)	弘前市						20	-	
											小計						20		
											合計						20		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	20				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	20				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	20				
うち未契約繰越額(g)	20				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	事業計画の再検討のため(国補正予算)				

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 弘前市における循環のみちの実現（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1)上位計画に基づき弘前市公共下水道事業計画を策定し、事業促進を図っていることから整合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2)地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 1)整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定しており整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 2)定量的指標は、当市の下水道事業における官民連携の導入状況を定量的に捉えており、導入検討に適した指標である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 3)事業内容は効率的な下水道事業の推進にかかわる事業としており、計画の目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果の見込みの妥当性 4)官民連携を導入することにより事業の効率化を図る。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1)地域ごとに住民説明を行うなどし、下水道事業に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2)官民連携導入について地元企業の意向確認を行う。	○

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

